学校法人大阪滋慶学園

出雲医療看護専門学校 学則

第１章　総則

（目的）

第１条　学校法人大阪滋慶学園　出雲医療看護専門学校は、総合的な医療分野における専門課程を設置し、専門家としての知識及び技術を教授し、社会に貢献し得る有能な人材を育成することを目的とする。

（名称）

第２条　本校は学校法人大阪滋慶学園　出雲医療看護専門学校という。（以下、「本校」という。）

（位置）

第３条　本校は、島根県出雲市今市町１１５１番地１に位置する。

（自己点検・自己評価）

第４条　本校は、教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動及び学校運営等の状況について自ら点検及び評価を行なう。

（課程、学科、修業年限、定員）

第５条　本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次の通りとする。

課　程	学　科	修業年限	入学定員	総定員	備考
医療専門課程（３年課程）	看　護　学　科	３年	８０名	２４０名	昼間
医療専門課程（３年課程）	理学療法士学科	３年	４０名	１２０名	昼間
医療専門課程（３年課程）	臨床工学技士学科	３年	３０名	９０名	昼間
医療専門課程（２年課程）	医療総合学科	２年	４０名	８０名	昼間
医療専門課程（１年課程）	臨床工学技士専攻科	１年	２０名	２０名	昼間

（在学年限）

第６条　在学年限は、各学科の修業年限の２倍とする。

第２章　学年、学期及び休業日

（学年、学期）

第７条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

２　学年は学期に区分し、前期は４月１日から９月３０日まで、後期は１０月１日から翌年３月３１日までとする。

３　必要がある場合、管理運営会議の議を経て学校長は前項に定める前期の終期および後期の始期を変更することができる。

（休業日）

第８条　本校において授業を行わない日（以下、「休業日」という。）は次のとおりとする。

一　日曜日

二　国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日

三　春季休業　１週間以上

四　夏季休業　１週間以上

五　冬季休業　１週間以上

２　季節休業期間については、管理運営会議の議を経て学校長が定める日とする。

３　第１項の規定にかかわらず、事務局長が特に必要あると認めるときは、臨時に休業を行い、または休業日に授業を行う。

第３章　入学、休学、復学、退学、転学・転入学

（入学時期）

第９条　本校の入学時期は、学年の初めとする。

（入学資格）

第１０条　本校に入学できる者は学校教育法（昭２２年法律第２６号）第９０条の規定により大学に入学することの出来る次の各号の一に該当する者で、入学試験に合格した後、所定の手続きを行った者とする。

一　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

二　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）

三　外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

四　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五　文部科学大臣の指定した者

六　高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）

七　本校において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、１８歳に達した者

八　臨床工学技士専攻科は、学校教育法に基づく大学または臨床工学技士法施行規則（昭和６３年厚生省令第１９号）第１３条各号に掲げる学校、文教研修施設もしくは養成所において２年（高等専門学校にあっては５年）以上修業し、かつ、厚生労働大臣の指定する科目を修めた者

（転入学）

第１１条　看護師、理学療法士、臨床工学技士の養成所、養成施設に在学している者で、本校の学科に転入学を希望する者があるときは、学校長は欠員のある場合に限り、選考

の上転入学を許可することができる。
ただし、上記の養成所ならびに養成施設以外の医療専門課程で、本校の学科に転入希望がある者は、学校長が教育課程等適切であると判断し認められた者に限り、選考の上転入学を許可することができる。

２　前項の規定により転入学を許可しようとする者の既に修得した授業科目、単位数および時間数の取り扱い並びに在学すべき年数については、第３４条に定める管理運営会議の議を経て学校長が決定する。

（入学の出願）

第１２条　本校へ入学または転入学を志願する者は、所定の期日までに所定の書類に入学検定料を添えて願い出なければならない。

２　前項に定める入学を志願する者が提出しなければならない書類は次の各号にあげる書類とする。

一　入学志願書

二　高等学校又は中等教育学校の卒業証明書又は卒業見込証明書

三　高等学校又は中等教育学校の証明する調査書　（高等学校卒業（見込み）者以外の者については教育施設長が証明する調査書）

四　学校教育施行規則第６９条第５号に該当する者にあっては、大学入学資格合格証書または合格証明書及び高等学校卒業程度認定試験合格証書または合格証明書

五　その他学校長が必要と認める書類

３　第１項に定める転入学を志願する者が提出しなければならない書類は次の各号にあげる書類とする。

一　転学許可書

二　転入学願書

三　履修証明書

（入学者の選考）

第１３条　入学者の選考は筆記試験及び面接により行なう。

（入学手続及び入学許可）

第１４条　第１２条第１項または前条の選考により合格し、入学または転入学の許可を受けようとする者は、所定の期日までに保証人連署の誓約書およびその他所定の書類に、入学金を添えて提出しなければならない。

２　学校長は、前項の手続きを完了した者に入学または転入学を許可する。

（保証人）

第１５条　保証人は、保証する学生の在学中、その一身上に関する事項について一切の責任を負うものとする。これについて、保証人は、書面により誓約しなければならない。

２　保証人の氏名、住所に変更があった場合は速やかに学校に届け出なければならない。

３　保証人を変更する場合には新たに第１項の誓約書を提出しなければならない。

（休学）

第１６条　学生が疾病その他の特別な理由により、休学しようとするときは、休学願を学校長に提出し、その許可を得て休学することができる。

２　学校長は疾病その他の特別な理由により、就学することが不適当と認められる学生に対して、管理運営会議の議を経て休学を命ずることができる。

３　休学期間は引き続き１年を超えることができない。但し、管理運営会議の議を経て学校長がやむを得ない理由があると認めた場合はこの限りではない。

４　休学期間は、通算して２年を超えることはできない。但し、管理運営会議の議を経て学校長がやむを得ない理由があると認めた場合はこの限りではない。

５　休学期間は在学年限に算入しない。

（復学）

第１７条　休学期間満了又は休学期間内であっても、その事由が消滅した者で復学を希望するときは、学校長の許可を得て復学するものとする。ただし、病気による休学から復学する場合は、医師の診断書を提出しなければならない。

（退学）

第１８条　自ら退学しようとする者は、保証人連署の上、理由を記して学校長に願い出て許可を受けなければならない。

２　学校長は、次の各号の一に該当する学生に対して管理運営会議の議を経て、退学を命じることができる。

一　第６条に規定する在学期間を超えた者

二　第１６条第４項に規定する休学期間を超えた者

三　死亡の届出があった者

四　第２６条に規定する懲戒の退学に該当する者

３　退学者が既に履修した単位については認定する。

（転学）

第１９条　学生が他の養成所、養成施設へ転学を希望する者は、学校長に願い出て学校長の許可を得なければならない。

第４章　教育課程、授業時間数及び成績評価等

（授業科目及び授業時間数）

第２０条　本校における授業科目、単位数及び時間数は、別表のとおりとし、看護学科を別表１－１、理学療法士学科を別表１－２、臨床工学技士学科を別表１－３、言語聴覚士学科を別表１－４、医療総合学科を別表１−５、臨床工学技士専攻科を別表１－６とする。

２　別表中、講義及び演習については１５時間から３０時間、実験、実習（臨地・臨床実習含む）及び実技については３０時間から４５時間をもって１単位とする。

（授業科目の評価及び単位習得の認定）

第２１条　単位修得の認定は、講義、実習等に必要な時間の取得状況、当該科目の評価に

より行なう。

２　出席時間が授業時間の３分の２に達しない者は、その科目について評価を受ける資格を失う。

３　授業科目の評価は優（８０点以上）良（７０点から７９点）可（６０点から６９点）及び不可（６０点未満）とし、可以上を合格とする。

４　病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった者または不合格者の者に対しては、追試験又は再試験を行なうことができる。

（入学前の授業科目の履修等）

第２２条　本校の入学前に放送大学やその他の大学若しくは高等専門学校または看護師、歯科衛生士、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、視能訓練士、義肢装具士、救急救命士、言語聴覚士の資格に係る学校若しくは養成所において既に修得した授業科目の単位の認定については、本人からの申請に基づき、本課程における教育内容に相当するものと認められる場合には、総取得単位数の２分の１を超えない範囲で、入学前の履修認定会議の議を経て、本校入学前の既履修科目を本校の授業科目の履修とみなすことができる。

２　前項に関わらず、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和６２年法律第３０号）第３９条第１号の 規定に該当する者で、本課程に入学した者の単位の認定については、社会福祉士及び介護福祉士法施行規則等の一部を改正する省令（平成２０年厚生労働省令第４２号）による改正前の社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則（昭和６２年厚生省令第５０号）別表４に定める基礎分野又は社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則別表４若しくは社会福祉士介護福祉士学校指定規則（平成２０年文部科学省・厚生労働省令第２号）別表４に定める「人間と社会」の領域に限り、本人からの申請に基づき、個々の既修の学習内容を評価し、本課程における教育内容に相当すると認められる場合には、当該科目に相当する科目を本校において履修したとみなすことができる。

第５章　卒業

（卒業の認定）

第２３条　学校長は、第２０条に定めるすべての授業科目の単位修得の認定を受けた者について、卒業判定会議の議を経て、卒業を認定する。

２　出席すべき日数の３分の２に達しない者については卒業を認めない。

３　学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。

（称号の付与）

第２４条　前条により本校課程を修了した者（２年課程以上）には、専門士（医療専門課程）の称号を授与する。

第６章　賞罰

（表彰）

第２５条　学生として表彰に値する行為があった者を学校長は表彰することができる。

（懲戒）

第２６条　本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、管理運営会議の議を経て学校長が懲戒する。

２　前項の懲戒の種類は、除籍、退学、停学、戒告とする。

３　停学が引き続き三ヶ月以上にわたるときは、その期間は、在学期間に算入しない。

第７章　健康管理

（健康管理）

第２７条　学校長は、学生に対して１年に１回以上の健康診断を実施する。

第８章　入学検定料、入学金及び授業料

（納付義務）

第２８条　入学を志願する者は入学検定料を、入学の許可を受けようとする者は入学金を、入学を許可された者は授業料を納めなければならない。

（入学検定料、入学金及び授業料の額）

第２９条　入学検定料、入学金及び授業料の額は学校長が別に定める。

（授業料の徴収）

第３０条　授業料は各年度初めまでに徴収する。

（退学、停学の場合の授業料）

第３１条　前期又は後期の中途で退学を許可され、又は退学を命ぜられた場合における当該期の授業料は徴収する。

２　停学期間中の授業料は徴収する。

（入学検定料、入学料及び授業料の還付）

第３２条　既納の入学検定料、入学金及び授業料は、原則返還しない。

第９章　教職員

（教職員）

第３３条　本校には、原則、次の教職員を置く。

一　学校長		１名
二　副学校長		１名
三　教務部長		１名
四　学科長		各科１名
五　副学科長		各科１名
六　実習調整者		看護学科のみ１名
七　専任教員	看護学科	１２名以上（学科長、副学科長含む）
	理学療法士学科	６名以上

臨床工学技士学科６名以上
医療総合学科　３名以上
臨床工学技士専攻科　４名以上

八　事務局長　１名
九　事務局次長　１名
十　事務課長　１名
十一　事務職員　１名以上

２ 職員の職務及び運営については、別に定める。

第１０章　会議

（管理運営会議）

第３４条　本校における運営の円滑化及び適正化を図るため管理運営会議を設ける。

２　前項の会議について必要な事項は別に定める。

（その他の会議）

第３５条　前条に定めるもののほか、必要に応じて会議・委員会を設ける。

２　前項の会議・委員会について必要な事項は別に定める。

第１１章　附帯教育事業

（附帯教育事業）

第３６条　本校は、附帯教育事業として、学校法人大阪滋慶学園　介護職員初任者研修を開講し、そのもとで、訪問介護事業に必要な知識及び技術を教授し、社会に貢献し得る有能な人材を育成することを目的とする。

２　介護職員初任者研修の受講料、カリキュラムその他必要な事項は「附帯教育事業に関する規程」に定める。

第１２章　　奨学制度

（奨学金）

第３７条　本校に奨学制度を設ける。詳細は別表４に定める。

第１３章　雑則

第３８条　本学則の他、学校の運営に関して必要な事項は別に定める。

第３９条　学則の改廃は、管理運営会議の議を経て、学校法人大阪滋慶学園　理事会で承認を受ける。

附　　則

１．この学則は平成２５年４月１日より実施する。

２．この学則は平成２６年４月１日より実施する。

３．この学則は平成２７年４月１日より実施する。
４．この学則は平成２８年４月１日より実施する。
５．この学則は平成２９年４月１日より実施する。
６．この学則は平成３１年４月１日より実施する。
７．この学則は令和　２年４月１日より実施する。
８．この学則は令和　３年４月１日より実施する。
９．この学則は令和　４年４月１日より実施する。
１０．この学則は令和　４年１０月１日より実施する。
１１．この学則は令和　５年４月１日より実施する。

別表１－１

看護学科

（年間授業時間数）

授業科目	単位数	１年		２年		３年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
（基礎分野）								
＜科学的思考の基礎、人間生活、社会の理解＞								
論理学	1	30						30
看護と人間工学	1	15						15
情報科学と統計学	1	15	15					30
哲学	1		30					30
環境学	1	15						15
人間心理学	1	15	15					30
人間関係論	1	15	15					30
教育学	1	15	15					30
家族と社会学	1	15	15					30
異文化コミュニケーション	1			15	15			30
英語と英会話	1			15	15			30
音楽とリラクゼーション	1			15	15			30
スポーツとレクリエーション	1	15	15					30
（専門基礎分野）								
＜人体の構造と機能＞								
形態機能学Ⅰ（解剖学）	1	30						30
形態機能学Ⅱ（生理学）	1	30						30
形態機能学Ⅲ（解剖学）	1		30					30
形態機能学Ⅳ（生理学）	1		30					30
栄養と代謝	1	30						30
＜疾病の成り立ちと回復の促進＞								
病態総論	1	30						30
病態と治療Ⅰ（呼吸器・循環器・血液）	1		30					30
病態と治療Ⅱ（消化器・内分泌・腎泌尿器）	1		30					30
病態と治療Ⅲ（脳神経・骨筋肉）	1		30					30
病態と治療Ⅳ（感覚器・生殖器）	1			30				30
病態と治療Ⅴ（精神障害・小児特有の疾患）	1			30				30
感染症と微生物	1		30					30
栄養と食事	1		30					30
臨床薬理学	1		30					30
臨床検査総論	1				30			30
臨床治療論	1			15	15			30
＜健康支援と社会保障制度＞								
公衆衛生学	1			15	15			30
保健医療論	1					15		15
社会保障制度論	1			15				15
社会福祉論	1				15			15
関係法規Ⅰ（医療と法律）	1				15			15
関係法規Ⅱ（看護と医療過誤）	1					15		15
（専門分野Ⅰ）								
＜基礎看護学＞								
看護学概論	1	30						30
看護研究Ⅰ（基礎）	1				15			15
看護研究Ⅱ（実践）	1					15		15
基本技術論Ⅰ（安全と安楽・環境調整）	1	30						30
基本技術論Ⅱ（対象把握の技術）	1	30						30
基本技術論Ⅲ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ技術・看護過誤）	1	30						30
生活援助論Ⅰ（食事・排泄）	1		30					30

別表１－１

授業科目	単位数	１年		２年		３年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
生活援助論Ⅱ（活動と休息・清潔と衣生活）	1	30						30
診療の補助技術	1		30					30
臨床看護技術Ⅰ	1	30						30
臨床看護技術Ⅱ	1			30				30
＜臨地実習＞								
基礎看護学実習Ⅰ	1		45					45
基礎看護学実習Ⅱ	2			90				90
（専門分野Ⅱ）								
＜成人看護学＞								
成人看護学概論	1		30					30
成人援助論Ⅰ	1			30				30
成人援助論Ⅱ	1			30				30
成人援助論Ⅲ	1			30				30
成人援助論Ⅳ	1				30			30
成人看護技術	1					30		30
＜老年看護学＞								
老年看護学概論	1		30					30
老人援助論Ⅰ	1		30					30
老人援助論Ⅱ	1			30				30
老人援助論Ⅲ	1			15				15
＜小児看護学＞								
小児看護学概論	1		30					30
小児援助論Ⅰ	1			15				15
小児援助論Ⅱ	1				30			30
小児援助論Ⅲ	1				30			30
＜母性看護学＞								
母性看護学概論	1			30				30
母性援助論Ⅰ	1			30				30
母性援助論Ⅱ	1				30			30
母性援助論Ⅲ	1					15		15
＜精神看護学＞								
精神看護学概論	1			30				30
精神援助論Ⅰ	1				15			15
精神援助論Ⅱ	1				30			30
精神援助論Ⅲ	1				30			30
＜臨地実習＞								
成人看護学実習Ⅰ	2			90				90
成人看護学実習Ⅱ	2					90		90
成人看護学実習Ⅲ	2					90		90
老年看護学実習Ⅰ	2		90					90
老年看護学実習Ⅱ	2				90			90
小児看護学実習Ⅰ・Ⅱ	2					90		90
母性看護学実習	2					90		90
精神看護学実習	2						90	90
（統合分野）								
＜在宅看護論＞								
在宅看護概論	1				15			15
在宅援助論Ⅰ	1				30			30
在宅援助論Ⅱ	1				30			30
在宅援助論Ⅲ	1					30		30
＜看護の統合と実践＞								
看護管理	1					15		15

別表１－１

授業科目	単位数	１年		２年		３年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
医療安全	1					30		30
国際看護・災害看護	1						30	30
総合看護技術	1						30	30
＜臨地実習＞								
在宅看護論実習	2					90		90
統合実習	2						90	90
合計	99	450	675	600	510	615	240	3090

別表１－１

看護学科

令和4年度の入学生は当カリキュラムで実施する　　（年間授業時間数）

授業科目	単位数	1年		2年		3年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
（基礎分野）								
＜　科学的思考の基礎　＞								
論理学	1	30						30
看護と人間工学	1	16						16
情報科学	1	30						30
健康と運動の科学	1	24						24
生物学	1	16						16
看護に必要な統計学	1		30					30
＜　人間生活、社会の理解　＞								
コミュニケーション論	1	16						16
人間関係論	1	16						16
教育学	1	30						30
環境学	1	16						16
英語と英会話	1	15	15					30
こころの援助論	1		30					30
家族論	1			8	8			16
倫理学	1			8	8			16
看護と音楽	1			8	8			16
（専門基礎分野）								
＜人体の構造と機能＞								
解剖学Ⅰ（消化器・呼吸器・循環器・血液・内分泌）	1	30						30
解剖学Ⅱ（骨筋系・腎泌尿器・生殖器・感覚器）	1	30						30
解剖学Ⅲ（脳・神経系）	1	16						16
生理学Ⅰ	1	30						30
生理学Ⅱ	1		30					30
代謝生化学	1		30					30
＜疾病の成り立ちと回復の促進＞								
病理学	1	30						30
臨床栄養学	1		30					30
感染症と微生物	1		30					30
臨床薬理学	1		30					30
疾病論Ⅰ（呼吸器・循環器）	1		30					30
疾病論Ⅱ（血液・消化器・内分泌）	1		30					30
疾病論Ⅲ（脳神経外科系・脳神経内科系（膠原病）・運動器）	1			30				30
疾病論Ⅳ（腎泌尿器・男性生殖器・女性生殖器）	1			16				16
疾病論Ⅴ（感覚器（皮膚科・耳鼻科・眼科・歯科口腔外科）	1			24				24
疾病論Ⅵ（精神疾患・小児疾患・産科の異常）	1				30			30
臨床治療論（外科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション）	1				30			30
臨床検査総論（臨床検査・ME機器）	1				16			16
＜健康支援と社会保障制度＞								
医療概論	1	16						16
チーム医療論	1			16				16
公衆衛生学	1			15	15			30
社会保障制度論	1				16			16
社会福祉論	1					16		16
医療と法律	1					8	8	16

別表１－１

授業科目	単位数	1年		2年		3年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
（専門分野）								
＜基礎看護学＞								
看護学概論	1	30						30
コミュニケーション技術と学習支援	1	30						30
環境調整と活動・休息援助技術	1	30						30
食事と排泄の援助技術	1		30					30
苦痛の緩和・安楽確保と呼吸・循環を整える技術	1		30					30
清潔・衣生活援助と創傷管理技術	1		30					30
診療の補助技術	1		30					30
ヘルスアセスメント	1	15	15					30
看護過程の基礎	1	15	15					30
看護研究Ⅰ（基礎）	1	15	15					30
看護研究Ⅱ（実践）	1			15	15			30
＜地域・在宅看護論＞								
地域と健康	1		30					30
地域の健康と生活	1		30					30
療養者と家族、諸制度	1			16				16
在宅看護の実際	1				30			30
在宅療養を支える技術	1					30		30
＜　健康段階別看護　＞								
ライフサイクル各期の健康課題と看護	1	15	15					30
主要症状のアセスメントと看護	1			8	8			16
治療過程と慢性期の看護	1					16		16
急性期と周術期の看護	1					16		16
回復期リハビリテーションの看護	1					8	8	16
緩和ケアと終末期看護	1					8	8	16
＜成人看護学＞								
成人看護学概論	1		16					16
回復期・慢性期にある患者の疾患別看護	1			30				30
急性期にある患者の疾患別看護	1				30			30
終末期にある患者の疾患別看護	1				30			30
看護過程の応用と成人看護技術	1					30		30
＜老年看護学＞								
老年看護の成り立ちと考え方	1	15	15					30
高齢者の特徴的な疾患と看護	1			30				30
高齢者の生活機能を整える看護技術	1			30				30
＜小児看護学＞								
小児看護の成り立ちと考え方	1			30				30
小児期の疾患のアセスメントと看護	1				30			30
小児期の患児への援助技術	1				30			30
＜母性看護学＞								
母性看護の成り立ちと考え方	1			30				30
妊娠と分娩	1			30				30
産褥と新生児	1				30			30
＜精神看護学＞								
こころの健康と精神看護	1			16				16
入院患者への援助	1				30			30
精神症状のある患者への看護	1				30			30
＜看護の統合と実践＞								
国際看護	1			8	8			16
救急・災害看護	1					30		30
看護管理	1					16		16
医療安全	1					30		30
看護の統合と実践	1					30		30

別表１－１

授業科目	単位数	1年		2年		3年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
＜臨地実習＞								
基礎看護学実習Ⅰ	1		45					45
基礎看護学実習Ⅱ	2			90				90
地域・在宅看護論実習I	2		75					75
地域・在宅看護論実習Ⅱ	2						90	90
成人看護学実習Ⅰ(慢性期看護の実際)	2			90				90
成人看護学実習Ⅱ(急性期・回復期看護の実際)	2					75		75
成人看護学実習Ⅲ(終末期看護の実際)	2					75		75
老年看護学実習	2				90			90
小児看護学実習(保育所・病院)	2					75		75
母性看護学実習	2					75		75
精神看護学実習(生活の質に応じた援助方法を考える)	2						75	75
統合実習	2						75	75
合計	106	526	676	548	492	538	264	3044

別表１－１

看護学科

令和5年度以降の入学生は当カリキュラムで実施する　　（年間授業時間数）

授業科目	単位数	1年		2年		3年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
（基礎分野）								
＜　科学的思考の基礎　＞								
論理学	1	30						30
看護と人間工学	1	16						16
情報科学	1	16						16
健康と運動の科学	1	24						24
生物学	1	16						16
看護に必要な統計学	1		30					30
＜　人間生活、社会の理解　＞								
コミュニケーション論	1	16						16
人間関係論	1	16						16
教育学	1	30						30
環境学	1	16						16
英語と英会話	1	15	15					30
こころの援助論	1		16					16
家族論	1			8	8			16
倫理学	1			8	8			16
看護と音楽	1			8	8			16
（専門基礎分野）								
＜人体の構造と機能＞								
解剖学Ⅰ（消化器・呼吸器・循環器・血液・内分泌）	1	30						30
解剖学Ⅱ（骨筋系・腎泌尿器・生殖器・感覚器）	1	30						30
解剖学Ⅲ（脳・神経系）	1	16						16
生理学Ⅰ	1	30						30
生理学Ⅱ	1		30					30
代謝生化学	1		30					30
＜疾病の成り立ちと回復の促進＞								
病理学	1	30						30
臨床栄養学	1		30					30
感染症と微生物	1		30					30
臨床薬理学	1		30					30
疾病論Ⅰ（呼吸器・循環器）	1			30				30
疾病論Ⅱ（血液・消化器・内分泌）	1			30				30
疾病論Ⅲ（脳神経外科系・脳神経内科系（膠原病）・運動器）	1			30				30
疾病論Ⅳ（腎泌尿器・男性生殖器・女性生殖器）	1			16				16
疾病論Ⅴ（感覚器（皮膚科・耳鼻科・眼科・歯科口腔外科）	1			24				24
疾病論Ⅵ（精神疾患・小児疾患・産科の異常）	1				30			30
臨床治療論（外科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション）	1				30			30
臨床検査総論（臨床検査・ME機器）	1				16			16
＜健康支援と社会保障制度＞								
医療概論	1	8	8					16
チーム医療論	1	8	8					16
公衆衛生学	1			15	15			30
社会保障制度論	1				16			16
社会福祉論	1					16		16
医療と法律	1					8	8	16

別表１－１

授業科目	単位数	1年		2年		3年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
（専門分野）								
＜基礎看護学＞								
看護学概論	1	30						30
コミュニケーション技術と学習支援	1	30						30
環境調整と活動・休息援助技術	1	30						30
食事と排泄の援助技術	1	15	15					30
苦痛の緩和・安楽確保と呼吸・循環を整える技術	1		30					30
清潔・衣生活援助と創傷管理技術	1		30					30
診療の補助技術	1		30					30
ヘルスアセスメント	1	15	15					30
看護過程の基礎	1	15	15					30
看護研究Ⅰ（基礎）	1	15	15					30
看護研究Ⅱ（実践）	1			15	15			30
＜地域・在宅看護論＞								
地域と健康	1		30					30
地域の健康と生活	1		30					30
療養者と家族、諸制度	1			16				16
在宅看護の実際	1				30			30
在宅療養を支える技術	1					30		30
＜　健康段階別看護　＞								
ライフサイクル各期の健康課題と看護	1			15	15			30
主要症状のアセスメントと看護	1			8	8			16
治療過程と慢性期の看護	1					16		16
急性期と周術期の看護	1					16		16
回復期リハビリテーションの看護	1					8	8	16
緩和ケアと終末期看護	1					8	8	16
＜成人看護学＞								
成人看護学概論	1		16					16
回復期・慢性期にある患者の疾患別看護	1			30				30
急性期にある患者の疾患別看護	1				30			30
終末期にある患者の疾患別看護	1				30			30
看護過程の応用と成人看護技術	1					30		30
＜老年看護学＞								
老年看護の成り立ちと考え方	1	15	15					30
高齢者の特徴的な疾患と看護	1			30				30
高齢者の生活機能を整える看護技術	1			30				30
＜小児看護学＞								
小児看護の成り立ちと考え方	1			30				30
小児期の疾患のアセスメントと看護	1				30			30
小児期の患児への援助技術	1				30			30
＜母性看護学＞								
母性看護の成り立ちと考え方	1			30				30
妊娠と分娩	1			30				30
産褥と新生児	1				30			30
＜精神看護学＞								
こころの健康と精神看護	1			16				16
入院患者への援助	1				30			30
精神症状のある患者への看護	1				30			30
＜看護の統合と実践＞								
国際看護	1			8	8			16
救急・災害看護	1					30		30
看護管理	1					16		16
医療安全	1					30		30
看護の統合と実践	1					30		30

別表１－１

授業科目	単位数	1年		2年		3年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
＜臨地実習＞								
基礎看護学実習Ⅰ	1		45					45
基礎看護学実習Ⅱ	2			90				90
地域・在宅看護論実習I	2		75					75
地域・在宅看護論実習Ⅱ	2						90	90
成人看護学実習Ⅰ(慢性期看護の実際)	2			90				90
成人看護学実習Ⅱ(急性期・回復期看護の実際)	2					75		75
成人看護学実習Ⅲ(終末期看護の実際)	2					75		75
老年看護学実習	2				90			90
小児看護学実習(保育所・病院)	2					75		75
母性看護学実習	2					75		75
精神看護学実習(生活の質に応じた援助方法を考える)	2						75	75
統合実習	2						75	75
合計	106	512	588	607	507	538	264	3016

別表１－２

理学療法士学科

令和2年度以降の入学生は当カリキュラムを実施する。

（年間授業時間数）

系列	科目名	1年		2年		3年		時間	単位
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野									
	＜科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解＞								
	医療英語	30						30	1
	情報科学	30						30	1
	物理学	30						30	1
	医療倫理学	30						30	1
	健康スポーツ科学Ⅰ	15						15	1
	健康スポーツ科学Ⅱ		15					15	1
	国際医療福祉				30			30	1
	コミュニケーション論	30						30	1
	社会福祉論				15			15	1
	心理学概論	30						30	1
	家族と社会学	30						30	1
	地域の理解	15						15	1
	ボランティア論	15						15	1
	人間関係論	30						30	1
専門基礎分野									
	＜人体の構造と機能及び心身の発達＞								
	解剖生理学Ⅰ	30						30	1
	解剖生理学Ⅱ	30						30	1
	解剖生理学Ⅲ		30					30	1
	解剖生理学Ⅳ		30					30	1
	骨関節系機能学Ⅰ	30						30	1
	骨関節系機能学Ⅱ	30						30	1
	運動学Ⅰ		30					30	1
	運動学Ⅱ		30					30	1
	動作学		30					30	1
								0	
								0	
	発達心理学		30					30	1
	解剖生理学演習Ⅰ	30						30	1
	解剖生理学演習Ⅱ		30					30	1
	＜疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進＞								
	病理学		30					30	1
	臨床心理学			30				30	1
	機能障害学Ⅰ	30						30	1
	機能障害学Ⅱ		30					30	1
	病態と治療Ⅰ（呼吸器・循環器・血液）		30					30	1
	病態と治療Ⅱ（消化器・内分泌・腎泌尿器）		30					30	1
	病態と治療Ⅲ（運動器）		30					30	1
	神経疾患の病態と治療		15					15	1
	小児科学			15				15	1
	精神医学			15				15	1
	医療の動向・高齢者対策				30			30	1
	栄養と食事		30					30	1
	臨床薬理学		15					15	1
	蘇生と救急処置			15				15	1
	＜保健医療福祉とリハビリテーションの理念＞								
	リハビリテーション概論	15						15	1
	リハビリテーション医学			15				15	1

別表１－２

系列	科目名	1年		2年		3年		時間	単位
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
	チーム医療概論			15				15	1
	チーム医療演習				30			30	1
	社会保障制度			15				15	1
専門分野									
＜基礎理学療法学＞									
	理学療法概論	30						30	1
	理学療法基礎演習		30					30	1
	医療統計演習			30				30	1
	理学療法研究法				30			30	1
	理学療法研究法演習					30	30	60	2
＜理学療法管理学＞									
	理学療法管理学						30	30	2
＜理学療法評価学＞									
	理学療法評価学Ⅰ(概論)	15						15	1
	理学療法評価学Ⅱ(検査法Ⅰ)		30					30	1
	理学療法評価学Ⅲ(検査法Ⅱ)			30				30	1
	理学療法評価学Ⅳ(アセスメント)				30			30	1
	疾患別動作分析学				30			30	1
	医療安全			30				30	1
＜理学療法治療学＞									
	体表解剖演習Ⅰ	30						30	1
	体表解剖演習Ⅱ		30					30	1
	運動療法学			30				30	1
	物理療法学			30				30	1
	運動器系理学療法学Ⅰ			30				30	1
	運動器系理学療法学Ⅱ			30				30	1
	運動器系理学療法学演習				30			30	1
	中枢神経系理学療法学Ⅰ			30				30	1
	中枢神経系理学療法学Ⅱ			30				30	1
	中枢神経系理学療法学演習				30			30	1
	末梢神経系理学療法学			30				30	1
	脊髄損傷の理学療法学			30				30	1
	内部障害理学療法学			30				30	1
	内部障害理学療法学演習				30			30	1
	小児発達系理学療法学			30				30	1
	義肢装具学				30			30	1
	理学療法技術演習				30			30	1
	生体機能代行装置学						30	30	1
	生体機能代行装置学演習						30	30	1
	理学療法総合演習						60	60	2
＜地域理学療法学＞									
	地域理学療法学Ⅰ			30				30	1
	地域理学療法学Ⅱ				30			30	1
	公衆衛生学	15						15	1
＜臨床実習＞									
	見学実習		45					45	1
	地域理学療法学実習			45				45	1
	評価実習				180			180	4
	総合臨床実習Ⅰ					315		315	7
	総合臨床実習Ⅱ						315	315	7
合計		570	570	585	555	345	495	3,120	103

別表１－２

理学療法士学科

令和4年度以降の入学生は当カリキュラムで実施する。

（年間授業時間数）

授業科目	単位数	１年		２年		３年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
（基礎分野）								
＜科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解＞								
医療英語	1	30						30
情報科学	1	30						30
物理学	1	30						30
医療倫理学	1	30						30
健康スポーツ科学Ⅰ	1	15						15
健康スポーツ科学Ⅱ	1		15					15
国際医療福祉	1				30			30
コミュニケーション論	1	30						30
社会福祉論	1				15			15
心理学概論	1	30						30
家族と社会学	1	30						30
地域の理解	1	15						15
ボランティア論	1	15						15
人間関係論	1	30						30
（専門基礎分野）								
＜人体の構造と機能及び心身の発達＞								
解剖生理学Ⅰ	1	30						30
解剖生理学Ⅱ	1	30						30
解剖生理学Ⅲ	1		30					30
解剖生理学Ⅳ	1		30					30
骨関節系機能学Ⅰ	1	30						30
骨関節系機能学Ⅱ	1	30						30
運動学Ⅰ	1		30					30
運動学Ⅱ	1		30					30
動作学	1		30					30
発達心理学	1		30					30
解剖生理学演習Ⅰ	1	30						30
解剖生理学演習Ⅱ	1		30					30
＜疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進＞								
病理学	1		30					30
臨床心理学	1			30				30
機能障害学Ⅰ	1	30						30
機能障害学Ⅱ	1		30					30
病態と治療Ⅰ（呼吸器・循環器・血液）	1		30					30
病態と治療Ⅱ（消化器・内分泌・腎泌尿器）	1		30					30
病態と治療Ⅲ（運動器）	1		30					30
神経疾患の病態と治療	1		15					15
小児科学	1			15				15
精神医学	1			15				15
医療の動向・高齢者対策	1				30			30
栄養と食事	1		30					30
臨床薬理学	1		15					15
蘇生と救急処置	1			15				15
感染症と微生物	1				30			30
＜保健福祉医療とリハビリテーションの理念＞								
リハビリテーション概論	1	15						15
リハビリテーション医学	1			15				15
チーム医療概論	1			15				15
チーム医療演習	1				30			30
社会保障制度	1			15				15
看護学概論	1		15					15

別表１－２

授業科目	単位数	１年		２年		３年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
（専門分野）								
＜基礎理学療法＞								
理学療法概論	1	30						30
理学療法基礎演習	1		30					30
医療統計演習	1			30				30
理学療法研究法	1				30			30
理学療法研究法演習	2					30	30	60
＜理学療法管理学＞								
理学療法管理学	2						30	30
＜理学療法評価学＞								
理学療法評価学Ⅰ（概論）	1	15						15
理学療法評価学Ⅱ（検査法Ⅰ）	1		30					30
理学療法評価学Ⅲ（検査法Ⅱ）	1			30				30
理学療法評価学Ⅳ（アセスメント）	1				30			30
疾患別動作分析学	1				30			30
医療安全	1			30				30
＜理学療法治療学＞								
体表解剖演習Ⅰ	1	30						30
体表解剖演習Ⅱ	1		30					30
運動療法学	1			30				30
物理療法学	1			30				30
運動器系理学療法学Ⅰ	1			30				30
運動器系理学療法学Ⅱ	1			30				30
運動器系理学療法学演習	1				30			30
中枢神経系理学療法学Ⅰ	1			30				30
中枢神経系理学療法学Ⅱ	1			30				30
中枢神経系理学療法学演習	1				30			30
末梢神経系理学療法学	1			30				30
脊髄損傷の理学療法学	1			30				30
内部障害理学療法学	1			30				30
内部障害理学療法学演習	1				30			30
小児発達系理学療法学	1			30				30
義肢装具学	1				30			30
理学療法技術演習	1				30			30
生体機能代行装置学	1						30	30
生体機能代行装置学演習	1						30	30
理学療法総合演習	2						60	60
＜地域理学療法学＞								
地域理学療法学Ⅰ	1			30				30
地域理学療法学Ⅱ	1				30			30
公衆衛生学	1	15						15
＜臨床実習＞								
見学実習	1		45					45
地域理学療法学実習	1			45				45
評価実習	4				180			180
総合臨床実習Ⅰ	7					315		315
総合臨床実習Ⅱ	7						315	315
合　　計	105	570	585	585	585	345	495	3165

別表１－３

臨床工学技士科（昼間部３年制課程）

授業科目	単位数	１年	２年	３年	計
（基礎分野）					
＜科学的思考の基盤＞					
数学科学の基礎	1	30			30
生物学	1	30			30
化学	2	60			60
物理学	2	60			60
数学	1	30			30
＜人間と生活＞					
科学英語	1	30			30
英会話	1	30			30
臨床医学英語	2		30	30	60
臨床心理学	1		30		30
人間関係論	1		30		30
医療倫理学	1	30			30
社会福祉論	1		15		15
社会保障制度	1		15		15
健康科学	1	30			30
（専門基礎分野）					
＜人体の構造及び機能＞					
形態機能学Ⅰ	1	30			30
形態機能学Ⅱ	1	30			30
形態機能学Ⅲ	1	30			30
形態機能学Ⅳ	1	30			30
生化学の基礎	1	30			30
基礎医学実習	1	30			30
＜臨床工学に必要な医学的基礎＞					
医療学概論	1	15			15
病理学	1	30			30
臨床生理学	1			30	30
臨床免疫学・感染	1		30		30
臨床薬理学	1		30		30
臨床検査総論	1		30		30
看護学概論	1		15		15
公衆衛生学	1	15			15
医療の動向・高齢者対策	1		15	15	30
＜臨床工学に必要な理工学的基礎＞					
応用数学	1	30			30
応用物理学	1	30			30
電磁気学	1	30			30
電気工学	2	60			60
電気工学演習	1	30			30
電子工学Ⅰ	1	30			30
電子工学Ⅱ	1		30		30
電子工学Ⅲ	1		30		30
電気工学実習	2	60			60
機械工学	2			60	60
放射線工学概論	1			30	30
医療統計学	1		30		30
設計製図	1			15	15
電子工学実習Ⅰ	2	60			60
電子工学実習Ⅱ	2		60		60

別表１－３

授業科目	単位数	１年	２年	３年	計
＜臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎＞					
情報処理学	2		60	0	60
システム制御工学	1			30	30
画像処置工学	1			30	30
システム・情報処理実習Ⅰ	1	30			30
システム・情報処理実習Ⅱ	1		30		30
システム・情報処理実習Ⅲ	1			30	30
（専門分野）					
＜医用生体工学＞					
医用工学概論	1		30		30
生体物性工学	1		30		30
医用材料工学	2		60		60
人工臓器工学	1			30	30
計測工学	2			60	60
＜医用機器学＞					
医用機器学概論	2	60			60
医用治療機器学	2		60		60
生体計測装置学Ⅰ	1			30	30
生体計測装置学Ⅱ	1			30	30
医用治療機器学実習	1		30		30
生体計測装置学実習	1			30	30
＜生体機能代行技術学＞					
生体機能代行装置学Ⅰ	2		60		60
生体機能代行装置学Ⅱ	2		60		60
生体機能代行装置学Ⅲ	2		60		60
生体機能代行装置学実習Ⅰ	2		60		60
生体機能代行装置学実習Ⅱ	2		60		60
生体機能代行装置学実習Ⅲ	2			60	60
＜医用安全管理学＞					
医用機器安全管理学	2			60	60
人間工学	1	30			30
関係法規	1	15			15
医療マネジメント概論	1			15	15
医用機器安全管理学実習	1			30	30
＜関連臨床医学＞					
病態と治療Ⅰ	1	30			30
病態と治療Ⅱ	1	30			30
神経疾患と病態と治療	1	15			15
小児科学	1		15		15
臨床医学総論Ⅰ	1		30		30
臨床医学総論Ⅱ	1			30	30
＜臨床実習＞					
臨床実習	4			180	180
＜その他＞					
国際臨床工学概論	1		30		30
課題研究	2		30	30	60
国家試験演習	4			120	120
合　　計	109	1110	1095	975	3180

別表１－３

臨床工学技士科（昼間部３年制課程）

令和5年度以降の入学生は当カリキュラムで実施する。

						（年間授業時間数）		
授業科目	単位数	１年		２年		３年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
（基礎分野）								
＜科学的思考の基盤＞								
数学	1	30						30
生物学	1	30						30
化学	2	30	30					60
物理学	2	30	30					60
＜人間と生活　社会の理解＞								
英会話	1	30						30
臨床医学英語	1			30				30
臨床心理学	1			30				30
コミュニケーション論	1			30				30
医療倫理学	1	30						30
社会福祉論	1				15			15
社会保障制度	1				15			15
健康科学	1	30						30
レポート作成演習	1		15					15
（専門基礎分野）								
＜人体の構造及び機能＞								
解剖学Ⅰ	1	30						30
解剖学Ⅱ	1	30						30
生理学Ⅰ	1	30						30
生理学Ⅱ	1	30						30
生化学の基礎	1		15					15
基礎医学実習	1		30					30
＜臨床工学に必要な医学的基礎＞								
医療学概論	1	15						15
病理学	1		30					30
臨床生化学	1			30				30
臨床免疫・感染	1			30				30
臨床薬理学	1				30			30
臨床検査学	1				30			30
チーム医療概論	1		15					15
公衆衛生学	1	15						15
高齢者医療学	1			30				30
＜臨床工学に必要な理工学的基礎＞								
応用数学	1		30					30
電気工学	2	60						60
電気工学演習	1		30					30
電子工学Ⅰ	1		30					30
電子工学Ⅱ	1			30				30
電気工学実習	2	30	30					60
機械工学Ⅰ	1		30					30
機械工学Ⅱ	1			30				30
放射線工学概論	1						30	30
医療統計学	1			30				30
電子工学実習Ⅰ	2		60					60
電子工学実習Ⅱ	2			30	30			60

別表１－３

授業科目	単位数	１年		２年		３年		計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
＜臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎＞								
情報処理工学	2			30	30			60
システム制御工学	1					30		30
画像処理工学	1					30		30
情報処理実習Ⅰ	1	30						30
情報処理実習Ⅱ	1			30				30
医用統計学演習	1				30			30
（専門分野）								
＜医用生体工学＞								
医用工学概論	1			30				30
生体物性工学	2			30	30			60
医用材料工学	2			30	30			60
人工臓器工学	1						30	30
生体計測工学演習	1					15		15
＜医用機器学及び臨床支援技術＞								
臨床工学概論	2	30	30					60
医療治療機器学	2			30	30			60
臨床支援技術学	1				30			30
生体計測装置学	1				30			30
医療治療機器学実習	2				60			60
医療治療機器学演習	1					30		30
生体計測装置学実習	1					30		30
＜生体機能代行技術学＞								
血液浄化技術学	2			60				60
体外循環技術学	2			60				60
呼吸療法技術学	2				60			60
血液浄化技術学実習	2				60			60
体外循環技術学実習	2				60			60
呼吸療法技術学実習	2					60		60
＜医療安全管理学＞								
生体計測安全管理学	1					30		30
医療機器安全管理学	1			30				30
医療安全管理学	1		15					15
関係法規	1	15						15
医療マネジメント概論	1						15	15
医療機器安全管理学実習	1					30		30
＜関連臨床医学＞								
疾病論Ⅰ	2		60					60
疾病論Ⅱ	1		30					30
神経疾患と病態と治療	1		15					15
小児科学	1				15			15
臨床医学総論Ⅰ	1			15				15
臨床医学総論Ⅱ	1					15		15
＜臨床実習＞								
臨床実習	7					315		315
＜その他＞								
国際臨床工学概論	1			30				30
課題研究Ⅰ	1				30			30
課題研究Ⅱ	1					30		
臨床工学総合演習	4						120	120
合　　計	109	525	525	675	615	615	195	3150

別表１ - ４

令和５年度より学科廃止

言語聴覚士学科（昼間部3年制）

（年間授業時間数）

系列	授業科目	単位数	１年		２年		３年		計
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	＜人文科学＞								
	医療倫理学	1	30						30
	心理学概論	2	30	30					60
	＜社会科学＞								
	コミュニケーション論	1	30						30
	社会福祉概論	1				15			15
	＜自然科学＞								
	統計学	1			30				30
	生物学・遺伝学	1	30						30
	＜外国語・保健体育＞								
	英語Ⅰ	2	30	30					60
	英語Ⅱ	2			30	30			60
	健康科学	1	30						30
	保健体育	1		15					15
専門基礎分野	＜基礎医学＞								
	形態機能学Ⅰ	1	30						30
	形態機能学Ⅱ	1	30						30
	形態機能学Ⅲ	1	30						30
	形態機能学Ⅳ	1	30						30
	病理学	1		30					30
	医療の動向・高齢者対策	1				30			30
	＜臨床医学＞								
	病態と治療Ⅰ	1		30					30
	病態と治療Ⅱ	1		30					30
	病態と治療Ⅲ	1		30					30
	小児科学	1				15			15
	精神医学	1				15			15
	耳鼻咽喉科学	1		15					15
	形成外科学	1		15					15
	リハビリテーション医学	2		60					60
	＜臨床歯科医学＞								
	臨床歯科医学・口腔外科学	1		15					15
	＜音声・言語・聴覚医学＞								
	呼吸発声発語系の構造・機能・病態	1	15						15
	神経疾患の病態と治療	1	15						15
	聴覚系の構造・機能・病態	1	15						15
	＜心理学＞								
	学習認知心理学	2		30					30
	発達心理学	2		30					30
	臨床心理学	1			30				30
	心理測定法	2				30			30
	＜言語学・音声学・音響学＞								
	言語学	2	30						30
	音声学	2			30	30			60
	音響学	2			30	30			60
	＜言語発達学＞								
	言語発達学	2	30	15					45
	＜社会福祉・教育＞								
	リハビリテーション概論	1	30						30

別表１－４

系列	授業科目	単位数	１年		２年		３年		計
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	
	社会保障制度	1				15			15
	医療関連法規	1					30		30
専門分野	＜言語聴覚障害概論＞								
	言語聴覚障害概論	2	60						60
	言語聴覚障害診断学	2		60					60
	＜失語・高次脳機能障害＞								
	失語症Ⅰ	1		30					30
	失語症Ⅱ	2			30	15			45
	高次脳機能障害Ⅰ	1		30					30
	高次脳機能障害Ⅱ	2			30	30			60
	失語・高次脳機能障害治療学	1				30			30
	＜言語発達障害学＞								
	言語発達傷害Ⅰ	1		30					30
	言語発達傷害Ⅱ	1			30				30
	言語発達傷害Ⅲ	2			30	30			60
	言語発達傷害治療学	2			30	30			60
	＜発声発語・嚥下障害学＞								
	音声障害	1			30				30
	機能性構音障害	1			30				30
	器質性構音障害	1				30			30
	運動障害性構音障害	2				30	30		60
	嚥下障害	3			30	30	30		90
	吃音	1			30				30
	＜聴覚障害学＞								
	小児聴覚障害	1			30				30
	成人聴覚障害	1			30				30
	補聴器、人工内耳Ⅰ	2				15	30		45
	補聴器、人工内耳Ⅱ	1						30	30
	聴覚検査Ⅰ	1					30		30
	聴覚検査Ⅱ	1						15	15
	＜臨床実習＞								
	見学実習	1		30					30
	臨床実習Ⅰ	4				160			160
	臨床実習Ⅱ	8					320		320
選択必修分野	看護学概論	1		15					15
	臨床検査論	1					15		15
	カウンセリング	1		15					15
	蘇生と救急処置	1					30		30
	情報科学	1	30						30
	国際言語聴覚概論	1				30			30
	研究方法・卒業研究	3			30		60		90
	国家試験対策講座Ⅰ	6						180	180
	合計	111	525	585	510	640	575	225	3060

別表１－５

医療総合学科（昼間部2年制）

健康リハビリ専攻　　（年間授業時間数）

系列	授業科目	単位数	１年		２年		計
			前期	後期	前期	後期	
基礎分野	＜科学的思考の基礎と社会人基礎力＞						
	心理学概論	1	30				30
	倫理学	1	30				30
	英会話	1	30				30
	医療の英語	1	30				30
	コミュニケーション論	1	30				30
	パソコン演習	1	30				30
	スポーツとレクリエーション	1	30				30
	数理科学の基礎	1	15				15
	統計学	1	15				15
	救急法	1	15				15
専門基礎分野	＜基礎医学領域＞						
	身体のしくみとはたらきⅠ	1	30				30
	身体のしくみとはたらきⅡ	1	30				30
	病気の理解Ⅰ	1		30			30
	病気の理解Ⅱ	1		30			30
	基礎看護論	1	15				15
	病気と薬	1		15			15
	免疫と感染	1	15				15
	＜社会生活と健康領域＞						
	公衆衛生学	1	15				15
	社会の動向	1	15				15
	社会福祉論	1	15				15
	社会保障制度	1	15				15

系列	授業科目	単位数	１年		２年		計
			前期	後期	前期	後期	
専門分野	＜健康医科学領域＞						
	スポーツ医学総論	1		30			30
	スポーツ医学Ⅰ（外科）	2		60			60
	スポーツ医学Ⅱ（内科）	1			30		30
	スポーツ栄養学	1			30		30
	スポーツ心理学	1		30			30
	スポーツマネジメント	1				15	15
	スポーツの文化と社会	1				15	15
	運動生理学	1		30			30
	障害者スポーツ論	1			15		15
	運動学	1			30		30
	測定と評価	2			30	30	60
	応急・救急処置	1			30		30
	リハビリテーション概論	1		30			30
	予防医学とコンディショニングⅠ	1		30			30
	予防医学とコンディショニングⅡ	2			60		60
	アスレティックトレーナー概論	1		30			30
	アスレティックリハビリテーションⅠ	2		60			30
	アスレティックリハビリテーションⅡ	3			60	30	90
	＜運動療法と指導領域＞						
	コーチング論	1		30			30
	運動療法理論・実習Ⅰ	1		30			30
	運動療法理論・実習Ⅱ	2			30	30	60
	健康実践プログラミング演習	1			15		15
	＜総合領域＞						
	卒業研究Ⅰ	1		30			30
	卒業研究Ⅱ	2			30	30	60
	＜学外実習＞						
	現場実習	4				180	180
その他							
	資格検定対策講座Ⅰ	2			60		60
	資格検定対策講座Ⅱ	2				60	60
	国際医療研修	1			30		30
	合計	62	405	465	450	390	1710

別表１－５

医療総合学科（昼間部2年制）

医療情報専攻　　（年間授業時間数）

系列	授業科目	単位数	１年		２年		計
			前期	後期	前期	後期	
基礎分野	＜科学的思考の基礎と社会人基礎力＞						
	心理学概論	1	30				30
	倫理学	1	30				30
	英会話	1	30				30
	医療の英語	1	30				30
	コミュニケーション論	1	30				30
	パソコン演習	1	30				30
	スポーツとレクリエーション	1	30				30
	数理科学の基礎	1	15				15
	統計学	1	15				15
	救急法	1	15				15
専門基礎分野	＜基礎医学領域＞						
	身体のしくみとはたらきⅠ	1	30				30
	身体のしくみとはたらきⅡ	1	30				30
	病気の理解Ⅰ	1		30			30
	病気の理解Ⅱ	1		30			30
	基礎看護論	1	15				15
	病気と薬	1		15			15
	免疫と感染	1	15				15
	＜社会生活と健康領域＞						
	公衆衛生学	1	15				15
	社会の動向	1	15				15
	社会福祉論	1	15				15
	社会保障制度	1	15				15

系列	授業科目	単位数	１年		２年		計
			前期	後期	前期	後期	
専門分野	＜医療情報技術とシステム工学領域＞						
	医療情報技師学	1		30			30
	情報の表現と種類	1		15			15
	ソフトウェアとハードウェア	1		30			30
	データベース技術	1		30			30
	プログラミング	1		30			30
	情報サービス	1		15			15
	病院情報システムⅠ（機能と導入）	2		60			60
	病院情報システムⅡ（運用と評価）	2			60		60
	医療情報の管理と標準化	1		30			30
	著作権法令	1			15		15
	ソフトウェアライセンス	1			15		15
	情報セキュリティ	2			60		60
	労務法規	1			30		30
	マネジメントと経営	1			30		30
	オフィスツールの利用	1				30	30
	e-ビジネスとIoTシステム	1				30	30
	ビジネスと産業	1				30	30
	ネットワークとマルチメディア	1				30	30
	＜医療事務領域＞						
	医療法規	1			30		30
	保険制度学（レセプト）	2		60			60
	保険制度学演習（レセプト）	2			60		60
	電子カルテ演習	2			60		60
	システム情報デザイン	1				30	30
	＜総合領域＞						
	卒業研究Ⅰ	1		30			30
	卒業研究Ⅱ	2			30	30	60
	＜学外実習＞						
	現場実習	4				180	180
その他	資格検定対策講座Ⅰ	2		60			60
	資格検定対策講座Ⅱ	2			60		60
	国際研修	1			30		30
	合計	62	405	465	480	360	1710

別表１－５

医療総合学科（昼間部2年制）

医療秘書専攻　　（年間授業時間数）

系列	授業科目	単位数	１年		２年		計
			前期	後期	前期	後期	
基礎分野	＜科学的思考の基礎と社会人基礎力＞						
	心理学概論	1	30				30
	倫理学	1	30				30
	英会話	1	30				30
	医療の英語	1	30				30
	コミュニケーション論	1	30				30
	パソコン演習	1	30				30
	スポーツとレクリエーション	1	30				30
	数理科学の基礎	1	15				15
	統計学	1	15				15
	救急法	1	15				15
専門基礎分野	＜基礎医学領域＞						
	身体のしくみとはたらきⅠ	1	30				30
	身体のしくみとはたらきⅡ	1	30				30
	病気の理解Ⅰ	1		30			30
	病気の理解Ⅱ	1		30			30
	基礎看護論	1	15				15
	病気と薬	1		15			15
	免疫と感染	1	15				15
	＜社会生活と健康領域＞						
	公衆衛生学	1	15				15
	社会の動向	1	15				15
	社会福祉論	1	15				15
	社会保障制度	1	15				15

系列	授業科目	単位数	１年		２年		計
			前期	後期	前期	後期	
専門分野	＜医療事務領域＞						
	関係法規	2		60			60
	ドクタークラーク概論	1		30			30
	診療報酬学（総合）	1		30			30
	診療報酬学（DPC）	1		30			30
	保険制度学　医科（レセプト）	2		60			60
	保険制度学　歯科（レセプト）	1			30		30
	保険制度学演習（レセプト）	2			60		60
	医療マネジメント	1				30	30
	院内感染と対策	1			15		15
	医療安全管理学	1			15		15
	システム情報処理	1			30		30
	医療事務概論	1			30		30
	電子カルテ演習	2			60		60
	＜専門医学領域＞						
	栄養と食事	1				15	15
	病気と検査	1			30		30
	検査の理解	1			30		30
	臨床心理学	1				30	30
	＜対人マナー領域＞						
	医療文章演習	1				30	30
	ビジネス文章演習	1		30			30
	手話演習	1				30	30
	フロント実習	1				15	15
	医療マナー	2		60			60
	接遇研修	2		60			60
	＜総合領域＞						
	卒業研究Ⅰ	1		30			30
	卒業研究Ⅱ	2			30	30	60
	＜学外実習＞						
	現場実習	4				180	180
その他	資格検定対策講座Ⅰ	2			60		60
	資格検定対策講座Ⅱ	2			60		60
	国際研修	1			30		30
	合計	62	405	465	480	360	1710

別表１－５

医療総合学科（昼間部2年制）

令和５年度以降の入学生は当カリキュラムで実施する。

健康リハビリ専攻　　（年間授業時間数）

系列	授業科目	単位数	１年		２年		計
			前期	後期	前期	後期	
基礎分野	＜科学的思考の基礎と社会人基礎力領域＞						
	心理学概論	2	30				30
	倫理学	2	30				30
	英会話	2	30				30
	医療の英語	2	30				30
	国際医療研修	1			30		30
	情報科学	1	30				30
	健康づくり概論	2	30				30
	統計学入門	1	30				30
	医療学概論	1	30				30
専門基礎分野	＜基礎医学領域＞						
	身体のしくみとはたらきⅠ	2	30				30
	身体のしくみとはたらきⅡ	2	30				30
	病気の理解Ⅰ	2	30				30
	病気の理解Ⅱ	2		30			30
	病気と薬	2		30			30
	公衆衛生学	2	30				30
	社会保障制度と福祉論	2	30				30
専門分野	＜健康医科学領域＞						
	スポーツ医学Ⅰ（外科）	2		30			30
	スポーツ医学Ⅱ（外科）	2		30			30
	スポーツ医学Ⅲ（内科）	2			30		30
	健康栄養学	2			30		30
	運動心理学	2		30			30
	スポーツと社会	2				30	30
	運動生理学	2		30			30
	運動学	2			30		30
	測定と評価	2		30	30		60
	病気と検査	2		30			30
	検査の理解	2			30		30
	リハビリテーション概論	2				30	30
	高齢者の医学	2				30	30
	子どもの医学	2				30	30
	手話講座	1				30	30
	＜運動療法と指導領域＞						
	健康づくり運動指導論	2		30			30
	健康づくり運動Ⅰ（WP・CD・ストレッチ）	1		30			30
	健康づくり運動Ⅱ（ウオーキング・ジョギング）	1			30		30
	健康づくり運動Ⅲ（レジスタンスエクササイズ）	2		30	30		60
	健康づくり運動Ⅳ（エアロビックエクササイズ　等）	1			30		30
	健康づくり運動Ⅴ（水泳・水中運動）	1			30		30
	テーピング理論・演習	1		30			30
	子どもの運動指導	1				30	30
	コアコンディショニング	1				30	30
	シニアリハビリ	1				30	30
	介助技術演習	1				15	15
	＜総合領域＞						
	卒業研究Ⅰ	1		30			30
	卒業研究Ⅱ	2			30	30	60
	現場実習	4				180	180
	キャリア対策講座	1		30			30
	実習事前指導	1			15		15
	＜検定対策領域＞						
	ビジネス能力検定対策講座	1	30				30
	ビジネス文書検定対策講座	2		30	30		60
	健康運動実践指導者対策講座Ⅰ	4			30	30	60
	健康運動実践指導者対策講座Ⅱ	1				30	30
	介護予防運動トレーナー対策講座	2				30	30
その他	＜選択科目＞						
	ITパスポート対策講座	2		30			30
	情報セキュリティマネジメント対策講座	4			60		60
	ビジネスメイク講座	1			15		15
合計		96	420	480	480	555	1935

別表１－５

医療総合学科（昼間部2年制）

令和５年度以降の入学生は当カリキュラムで実施する。

医療事務・情報専攻　　（年間授業時間数）

系列	授業科目	単位数	１年		２年		計
			前期	後期	前期	後期	
基礎分野	＜科学的思考の基礎と社会人基礎力領域＞						
	心理学概論	2	30				30
	倫理学	2	30				30
	英会話	2	30				30
	医療の英語	2	30				30
	国際医療研修	1			30		30
	情報科学	1	30				30
	健康づくり概論	2	30				30
	統計学入門	1	30				30
	医療学概論	1	30				30
専門基礎分野	＜基礎医学領域＞						
	身体のしくみとはたらきⅠ	2	30				30
	身体のしくみとはたらきⅡ	2	30				30
	病気の理解Ⅰ	2	30				30
	病気の理解Ⅱ	2		30			30
	病気と薬	2		30			30
	公衆衛生学	2	30				30
	社会保障制度と福祉論	2	30				30
専門分野	＜医療事務領域＞						
	関係法規	2		30			30
	ドクタークラーク概論	2			30		30
	診療報酬学（総合）	2		30			30
	診療報酬学（DPC）	2		30			30
	保険制度学　医科（レセプト）	2		60			60
	保険制度学　歯科（レセプト）	1				30	30
	医療事務管理学	3			90		90
	医療マネジメント	2				30	30
	医療安全管理学	2			30		30
	システム情報処理	2			30		30
	電子カルテ演習	2				60	60
	＜専門医学領域＞						
	栄養と食事	2				30	30
	病気と検査	2		30			30
	検査の理解	2			30		30
	臨床心理学	2				30	30
	高齢者の医学	2				30	30
	子どもの医学	2				30	30
	介助技術演習	1				15	15
	＜対人マナー領域＞						
	医療文章文書演習	1				30	30
	手話演習	1				30	30
	医療マナー	1			30		30
	接遇マナー	2		60			60
	＜総合領域＞						
	卒業研究Ⅰ	1		30			30
	卒業研究Ⅱ	2			30	30	60
	現場実習	4				180	180
	キャリア対策講座	1		30			30
	実習事前指導	1			15		15
その他	＜検定対策領域＞						
	ビジネス能力検定対策講座	1	30				30
	ビジネス文書検定対策講座	2		30	30		60
	医療秘書技能検定対策	4		30	30		60
	＜選択科目＞						
	ITパスポート対策講座	2		30			30
	情報セキュリティマネジメント対策講座	4			60		60
	コアコンディショニング	1				30	30
	ビジネスメイク	1			15		15
合計		92	420	450	450	555	1875

別表１－６

臨床工学技士専攻科（昼間部1年課程）

（年間授業時間数）

系列	授業科目	単位数	１年		計
			前期	後期	
専門基礎分野	**人体の構造および機能**				
	形態機能学Ⅰ	1	30		30
	形態機能学Ⅱ	1	30		30
	形態機能学Ⅲ	1	30		30
	形態機能学Ⅳ	1	30		30
	生化学の基礎	1	30		30
	基礎医学実習	1	30		30
	臨床工学に必要な医学的基礎				
	医療学概論	1	15		15
	病理学	1	30		30
	臨床生理学	1	30		30
	臨床免疫学・感染	1	30		30
	臨床薬理学	1	15		15
	医療の動向・高齢者対策	1	15		15
	看護学概論	1	15		15
	公衆衛生学	1	15		15
	臨床工学に必要な理工学的基礎				
	電磁気学	1	30		30
	電気工学	2	60		60
	電子工学Ⅰ	1	30		30
	電子工学Ⅱ	1	30		30
	電子工学Ⅲ	1		30	30
	電気工学実習	2	60		60
	機械工学	2	30	30	60
	電子工学実習	3	30	60	90
	応用数学	1	30		30
	応用物理学	1	30		30
	放射線工学概論	1	30		30
	臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎				
	情報処理工学	2	45		45
	システム制御工学Ⅰ	1	15		15
	システム制御工学Ⅱ	1	15		15
	システム・情報処理実習Ⅰ	1	30		30
	システム・情報処理実習Ⅱ	1	30		30
	画像処理工学	1	15		15
専門分野	**医用生体工学**				
	医用工学概論	1	30		30
	生体物性工学	1	30		30
	人工臓器学	1		30	30
	医用材料工学	2	15	30	45
	計測工学Ⅰ	1	15		15
	計測工学Ⅱ	1		15	15

別表１－６

系列	授業科目	単位数	１年		計
			前期	後期	
専門分野	**医用機器学**				
	医用機器学概論	2	45		45
	医用治療機器学	2	30	30	60
	生体計測装置学Ⅰ	1	30		30
	生体計測装置学Ⅱ	1	30		30
	医用治療機器学実習	1		30	30
	生体計測装置学実習	1		30	30
	生体機能代行技術学				
	生体機能代行装置学Ⅰ	2		60	60
	生体機能代行装置学Ⅱ	2		60	60
	生体機能代行装置学Ⅲ	2		60	60
	生体機能代行装置学実習Ⅰ	2		60	60
	生体機能代行装置学実習Ⅱ	2		60	60
	生体機能代行装置学実習Ⅲ	2		60	60
	医用安全管理学				
	医用機器安全管理学	2		45	45
	関係法規	1	15		15
	医療マネジメント概論	1		15	15
	医用機器安全管理学実習	1		30	30
	関連臨床医学				
	臨床医学概論Ⅰ	1		30	30
	臨床医学概論Ⅱ	1		30	30
	小児科学	1	15		15
	病態と治療Ⅰ	1		30	30
	病態と治療Ⅱ	1		30	30
	神経疾患と病態と治療	1		15	15
	臨床実習				
	臨床実習	4		180	180
その他	国家試験演習	2	15	30	45
	合計	81	1125	1080	2205

別表２

課　　程	学　　科	入学検定料	入学金	授業料（年額）	実習費	設備費	教育教材演習費
医療専門課程	看　護　学　科	20,000	100,000	700,000	100,000	100,000	90,000
	理学療法士学科	20,000	100,000	800,000	200,000	100,000	95,000
	臨床工学技士学科	20,000	100,000	1,000,000	100,000	100,000	95,000
	医療総合学科	20,000	100,000	700,000	50,000	100,000	50,000
	臨床工学技士専攻科	20,000	100,000	700,000	100,000	―	70,000

別表３

課　　程	学　　科	修業年限	入学定員	昼夜の別
医療専門課程	看　護　学　科	３	８０	昼
医療専門課程	理学療法士学科	３	４０	昼
医療専門課程	臨床工学技士学科	３	３０	昼
医療専門課程	医療総合学科	２	４０	昼
医療専門課程	臨床工学技士専攻科	１	２０	昼

別表４

奨学金の種類	内　　容
大阪滋慶奨学金	入学者本人、または親兄弟姉妹が本校を含む大阪滋慶学園に在籍、または卒業している場合、奨学金の 10 万円を支給する。

様式１－１

割印

第　　号

卒業証書

校印

氏名

生年月日

あなたは本校で医療専門課程
看護学科を修めその業を
おえたのでこれを証します

令和　年　月　日

学校法人大阪滋慶学園
出雲医療看護専門学校
校長氏名　　印

様式１－２

割印

第　　号

卒業証書

校印

氏名

生年月日

あなたは本校で医療専門課程
理学療法士学科を修めその業を
おえたのでこれを証します

令和　年　月　日

学校法人大阪滋慶学園
出雲医療看護専門学校
校長氏名　　印

様式１－３

割印

第　　号

卒業証書

校印

氏名

生年月日

あなたは本校で医療専門課程

臨床工学技士学科を修めその業を

おえたのでこれを証します

令和　年　月　日

学校法人大阪滋慶学園

出雲医療看護専門学校

校長氏名　　印

様式１－４

割印

第　　号

卒業証書

校印

氏名

生年月日

あなたは本校で医療専門課程

言語聴覚士学科を修めその業を

おえたのでこれを証します

令和　年　月　日

学校法人大阪滋慶学園

出雲医療看護専門学校

校長氏名　　印

様式１－５

割印

第　　号

卒業証書

校印

氏名

生年月日

あなたは本校で医療専門課程
医療総合学科を修めその業を
おえたのでこれを証します

令和　年　月　日

学校法人大阪滋慶学園
出雲医療看護専門学校
校長氏名　　印

様式１－６

割印

第　　号

卒業証書

校印

氏名

生年月日

あなたは本校で医療専門課程
臨床工学技士専攻科を修めその
業をおえたのでこれを証します

平成　年　月　日

学校法人大阪滋慶学園
出雲医療看護専門学校
校長氏名　　印

様式２－１

称号授与書

医療専門課程
看護学科

氏名
生年月日

右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程）の称号を授与する

出雲医療看護専門学校
校長　氏　名　印

様式２－２

称号授与書

医療専門課程
理学療法士学科

氏名
生年月日

右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程）の称号を授与する

出雲医療看護専門学校
校長　氏　名　印

様式２－３

称号授与書

医療専門課程

臨床工学技士学科

氏名

生年月日

右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程）の称号を授与する

出雲医療看護専門学校

校長　氏　名　印

様式２－４

称号授与書

医療専門課程

言語聴覚士学科

氏名

生年月日

右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程）の称号を授与する

出雲医療看護専門学校

校長　氏　名　印

様式２－５

称号授与書

医療専門課程
医療総合学科

氏名

生年月日

右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程）の称号を授与する

出雲医療看護専門学校
校長　氏　名　印